

チーム・ネパール【カンボジアミッション報告書】

本年度も4月29日～5月5日に、日本青年会議所医療部会が、B R Aにご支援頂き、7回目のカンボジアでの医療支援を無事終了いたしました。

カンボジアにはまだ健康診断という習慣がありません。そこで、医療部会では医療行為を現地で実施するだけでなく、保健教育も根付かせねばならないと活動してきました。今年は2つの小学校でミッションを実施いたしました。

1校目はプノンペン市内から車で2時間半の所にある小学校です。電気も水もなく、医師もいない町。そこで150人の子供達に、公衆衛生指導と歯科、医科健診を実施し、BMIの測定を行いました。そして母親教室として、母親達にも公衆衛生指導を実施いたしました。

2校目はプノンペン市内にある全校生徒1600人のマンモス小学校です。600人に公衆衛生指導、200人に医科、200人に歯科健診、600人に文房具の配布をいたしました。ここでは今年承認されます、カンボジアJ Cメンバー10人も参加して下さり、公衆衛生指導を一緒に行い、健康診断の大切さに気付いて頂きました。また、日本から来た医療チームということで、現地のテレビ局も来て下さり、パンデミックを防止するためにも、手洗い、うがい、歯磨きなどの大切さを訴えさせていただきました。その他に孤児院2つと障害者施設に訪問し、メンバーから募った車いすや文房具を寄付してきました。そして教育省大臣や日本大使館、JICAにも表敬訪問をし、カンボジアの子供達の現状と健康診断の重要性を訴えてきました。今年、様々なデータも取ってきましたので、そのデータを元に保健省にも国民の健康を守るための教育を訴えていければと思っております。

・ミッション時の写真を掲載します。



BMI測定



医科健診



歯科健診



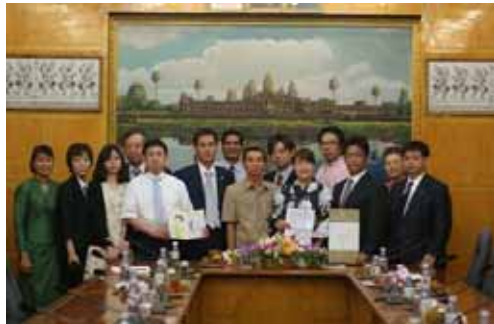
子どもたち



文具贈呈



空飛ぶ車いす



教育省大臣と



カンボジア感謝状



カンボジアJCメンバーと



集合写真